

2020年10月1日発行（秋号）

No.66

会報 いづこうげん

目次

総会報告	2～3
親和会会員だより	4
歩こう会	5
親和会部会報告	6・7
浸透池管理について	7
親和会情報	8

南大室台から見た大室山（第一地区会員撮影）



伊豆高原親和会

静岡県伊東市八幡野1208-95 TEL(0557) 53-1122 FAX(0557) 54-4222

令和二年度親和会総会報告

一〇二〇年度親和会総会は、当初、例年通りの日程として五月二十三日（土）に開催する旨、招集通知をお送りしましたが、新型コロナ感染拡大防止対策のために七月五日（日）に延期し、八幡野コミュニティセンターにて開催致しました。

親和会総会は、規約上事業年度の開始日から三カ月以内に開催するとしていますが、四月の国の緊急事態宣言を受け、その後の伊東市及び静岡県との指導もあり、総会を五月に開催することは難しいと判断せざるを得ませんでした。しかし、連休明けになって、人数は制限されるものの、感染防止策をとることで、規約に順じて開催できると判断し、会場が確保できる日程として七月五日開催を決め、五月連休明けにご案内いたしました。当日は、ソーシャルディスタンスとして席の間の距離を二メートル確保し、会場の換気を図って、全員マスク着用の上、会議時間厳守の下で開催することができました。

総会の参加者は五十一名と例年の半分近くになりましたが、委任状参加が九百六十一名で、合計千十二名となり、総会は有効に成立しました。午後一時半に開始した総会は、熱心



令和2年度総会風景

な質疑の下で、予定を十分ほどオーバーして終了しました。

最初に二〇一九年度事業報告と監査報告があり、審議の後、拍手で承認されました。次に、議案第一号が審議され、業務委託費の引き上げ、道路補修費、交通弱者対策、空き家対策等についてご意見が出されました。約一人分の業務委託料の引き上げにより、道路の清掃・補修、GS管理、域内パトロールなどの強化が期待されます。議案第一号は委任状での賛成が六百七十一、反対が二十五、白紙が二百六十五、これに出席会員の評決を合計して、賛成多数で可決されました。議案第二号については、

議場で、コロナ感染の経済的な影響を考慮し、会費改訂時期を三年間延期したらどうかとの修正動議が出されました。修正動議は、審議・採決の結果、賛成少数で否決されました。議案第二号は、委任状での賛成六百八、反対八十八、白紙二百六十五と出席会員の評決を合計し、賛成多数で可決されました。

最後に理事長より、公正・公平・中立をモットーに、今後も会の運営に当たっていきますとの挨拶がありました。

議案審議を通じて出された主なご意見、ご質問及び回答は以下の通りです。（○は質問、●は回答）

○ルール無視のゴミ捨て防止のために、防犯カメラの設置などの対策を講じる必要があるのでは。

●最近では、ゴミ捨てルールの徹底とともに、会員の皆様の清掃活動でゴミステーションは概ね綺麗に利用されていますが、一部のゴミステーションでは不法投棄なども起きています。防犯カメラを設置しても、録画したメモリーチェックの労力が大変で、しかも対象者を特定する必要があり、現在の親和会の役員では難しく、また外注すればコストがかかります。当面はゴミステーションのパトロールの頻度を増やして対処することとし

ています。

○業務委託費の増額の内訳は。

●十年以上据え置いた形になっていた業務委託費の引き上げもありますが、環境整備業務について今年度より区域内パトロールの強化や増大する自然災害対応などのため一名相当分の業務量の拡大を図ること、及び従来道路補修費や下水処理費に計上していた工事管理費用を業務委託費に計上処理変更したことによるものです。

○道路補修費を前年度と同額に据え置いているのは。

●道路補修費は、工事管理費用分だけ実質的な増額になります。昨年度より補修する箇所がその分増えることになります。

○高齢化が進む伊豆高原で交通利便性の確保を検討してもらいたい。

●行政とも協力し、近隣の自治会と連携して、交通利便性の確保を検討していきます。

○伊豆高原桜並木が昨年の台風でかなりの被害を受けたが、桜の木の寿命も考慮して計画的に植え替えを図ってほしい。

●貴重なご意見ありがとうございます。桜並木の保全に関しては、伊東市と伊豆急コミュニティと協議会を作って対処しています。○空き家対策はどうしているか。

コロナの時代に地方移住が始まっているので、空き家の持ち主に売却を働き掛けるという視点はどうか。

●親和会としては、放置されている空き家はおよそ三十件と把握しており、問題のところには整備を要請しています。近年は伊東市と協力して対処しており、毎年五件については伊東市からも文書を送付して対処するよう要請しています。

空き家対策の対象となる場合、相続問題がネックになって、売却が難しいところもありますが、所有地の整備とともにテレワーク用に売却をお願いすることもありだと思えます。

○繰越金と会費の値上げとの関係は？

●繰越金の妥当な金額ということで、大きな災害があった時に対処できるように余裕を持つということが従来からの考え方です。少なくとも、大災害で会費の納入が滞った場合、年間経費を賄えるだけの金額は繰越金として確保していくことが必要と考えています。

○近隣の分譲地の会費を見ると、親和会と同じような管理業務を行っている浮山や名鉄赤沢、東大室や恒陽台に比較しても親和会の会費は安い。東京あたりのマンションの月額管理費よりも親和会の年会

費の方が安い。ボランティアの形で、これまでの役員の皆さんのご苦労があったから、これまでやってこれたのだと思う。改訂は理解できる。

○会費の値上げは賛成です。会員の事情を考慮して、住んでいる方への優しい対応を考えることがあるということはいいいことだと思います。

●貴重なご意見ありがとうございます。

令和二年度

伊豆高原親和会役員

理事長	市原 輝夫
副理事長	武川 耕一
副理事長	住吉喜久夫
副理事長	徳本 政幸
副理事長	丹羽 忠昭
理事	阿部島賢治
理事	高橋 亘
理事	小川たつ子
理事	山田 華恵
理事	吉田 勇
理事	牧島 珪
理事	井上 順子
理事	株式会社伊豆急
理事	コミュニティー
監事	株式会社静岡銀行
監事	鈴木 恵子

(注) 六月役員会で藤尾理事の後任として牧島珪氏が、また欠員となっていた第一地区より高橋亘氏が就任

会費改訂について

七月五日に開催された二〇二〇年度の親和会総会で、会費改訂議案が可決されました。改訂後の会費は、来年度より適用されます。今年度収めていただく会費は、改訂前の従来の会費です。なお、今年度は会費の増収はありませんが、実質的に会費改訂後の予算規模を意識した事業内容になっています。

会費改訂によって、これまで二人分の作業量として委託していた環境整備ですが、今後は三人分の業務量を行ってもらえることになりました。車両も一台増車して対処しますので、浸透地の整備や道路の維持管理と清掃、不当投棄物の処理など、これまで十分に対処できなかったところが一定程度カバーできるようになります。さらに分譲地内のパトロールを強化し、不当なごみ投棄をチェックすることとしています。

道路補修費用については、実質的に一割強の増額ができますので、各地区の公平性を見ながら、従来以上の対応が可能になると考えています。また、分譲開始後五十五年ほど経過していることから、浸透地の樹木が大きくなりすぎ、周辺環境を悪化させているところもありますので、浸透地の整備を進めます。大きな木の

伐採は業者に依頼することになるので、大きな費用が掛かります。今回の改訂で賄える範囲内で対処していきます。なお、側溝については、大きな補修は土木工事になり、非常に多額の費用が掛かるため、これまで通り部分的な補修で対処せざるを得ないと考えています。



親和会会員だより

伊豆高原で新しい挑戦を開始



三年前に別荘使いを前提にこの地を購入しましたが、自宅からの海の眺めに魅せられ、昨年(二〇一九)秋、完全移住しました。

私は群馬県、妻は栃木県と、二人とも海なし県の出身です。泳ぐわけではないのですが、海への憧れがこの地を選ばせました。景色もさることながら、風の梵を実感し、感性が生き返るような心地がしています。まさに風十景 ですね。

新しい環境、新しい生活になったからにはと、新しい挑戦を色々始めてみました。



まずは養蜂です。友人からの奨めにより西洋ミツバチを飼い始めました。三月頭に約二万匹の働き蜂と一匹の女王蜂が到着。巣箱の中に巣脾(スビ：四角い枠の巣の基礎となるもの)が五枚入れています。

さて、蜜蜂には色々な神秘があります。まず女王蜂ですが、一匹で四〇五万匹の働きバチを率います。ですがその卵は普通の働き蜂と全く同じだそうです。特別に用意された巢穴(王台という)七〇八個の卵が幼虫となり、ロイヤルゼリーだけを餌として育てられると女王候補となります。中から最初に羽化したものが

次期女王となります。羽化するとすぐに、その対立候補全部を食い殺し、地位を確立するというんだか恐ろしい独裁社会です。働き蜂は年功序列です。生まれてから死ぬまで、その役割は生後の日数によって決まっています。部屋の掃除、幼



虫の世話、外敵の防御、最後に外に出て蜜や花粉を集めます。その寿命は約三〇日とのこと。その間働きずくめです。

オス蜂は女王との交尾だけが仕事です。交尾の時期が終わると巣を追い出されるのだとか。男性諸氏には厳しい現実と感ずるかもしれませんね。

私の巣箱は順調に蜂の数が増え、現在は二階建て、巣脾は十五枚約四〇五万匹の蜂が暮らしています。

その成果である蜂蜜は主に春に採取します。友人に手伝ってもらいながら約五リットル採れました。伊豆は柑橘類が多いので、そんな香りの蜜かと思っていました。想像よりもっと華やかな香りのものでした。手前味噌ですが絶品！花々に直接口をつけて吸い取ったような柔らかなそして香しく、しかも甘さの切れが良いとても美味しい初収穫でした。

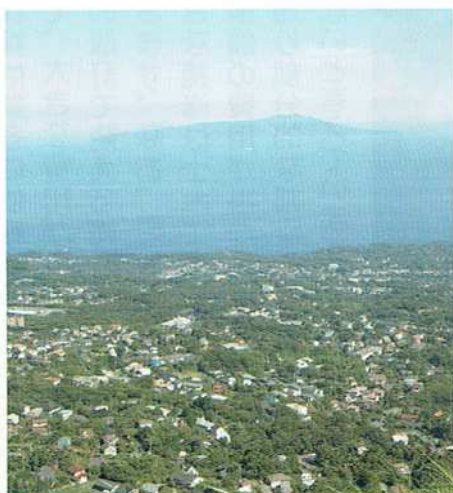
次に始めたのがお茶のお稽古です。ご近所の裏千家の先生宅で週に一回お稽古をしています。まずは着物を新調しましたが、なにせ初めての着付けです。帯を締めるのに youtube を見ながら格闘一時間。未だに一苦勞しています。

「日々是好日」の本を読み感動し、樹木希林さん主演の映画も観ました。それまでルールを破ることばかりを考えていた自分が、人生で一度くらいは伝統様式に染まってみようと思ったのがきっかけでした。

その他、池地区に畑を借りたり、囲碁にゴルフとそこそこ多忙です。

伊豆高原への移住は、念願だった田舎生活の実現ですが、今のところ快適で健康的で大いに満足しています。課題は知的好奇心の維持でしょうか？

第二地区 新井 徹



伊豆高原いいところ探し

今年から発足した「親和会歩こう会」では、これまで二月に「大室山山焼きコース」、三月に「城ヶ崎海岸いがいが根く蓮着寺コース」、七月に「やんもの里歩きコース」を実施致しました。六月に予定した「アジサイと水源を尋ねて池の郷コース」は、雨天のため中止いたしました。



これからも年数回の予定で、「伊豆高原のいいところ」を尋ねてまいります。伊豆高原のいいところは、先ず景観です。国立公園のご真ん中に位置し、天城連山と相模灘に周りを囲



福泉寺（廃寺）跡に残る石塔

まれどちらを見ても変化に富んでいます。山脈は日本百名山の天城山を中心に遠笠山、矢野山、大室山、そして伊雄山とそれぞれ特徴ある山容を誇っています。海側には伊豆大島が大きく横たわり、伊豆七島が連なっています。それ等が、大きすぎず小さすぎず程よく並んでいて見飽きることがありません。それ等を背景に温暖・多湿な気候条件で、多種多様な動植物を育んでいます。四季を通して次から次へと沢山の花々が咲き競い、蝶が舞い、鳥が歌う、春夏秋冬、季節の移り変わりを楽しませてくれます。歴史を振り返っても、時代時代に多くの足跡を残しています。



対島川（鳴沢川）上流のドンドン淵

源頼朝が伊豆に流されて旗上げまでの二〇年間、曾我物語発祥の血塚、日蓮上人法難の地、沖行く黒船を追いかけた吉田松陰、日本地図を作成した伊能忠敬などなど歴史上の人物が登場します。

これらの沢山の見どころを自分の足で尋ね歩く、そして出会える人々との交流も一層楽しいものにさせてくれることでしょう！

コースの選定に当たっては、参加者の感想・意見を聞きながら歩程一〇キロメートル、昼食時間を含んで四時間程度に設定して進めてきました。今までの状況ですが、個人差がはつきりしてきました。長すぎる・早すぎる・短すぎる・遅すぎるなどです。



対島川（鳴沢川）下流展望台で休憩風景

歩こう会をワンチームで行うとすると、お互いに寄り添いながら中間点を見出すか、一般向きと健脚向きに分けるしかありません。今の体制では二コースに分けるのは困難でした。したがってどちらも満足できる点を見つけてゆきたいと思っています。

これからのコースの候補ですが、街歩きコースは赤沢、池、富戸、海岸コースは、赤沢く八幡野く海洋公園く富戸港く富戸海岸、古道コースは大川く伊豆高原く富戸、蓮着寺参詣道、山歩きコースは、遠笠山、矢野山、伊雄山、川歩きでは対島川、赤沢川、草崎川などです。これらを主体に季節を代え、テーマを代えながら「いいところ探し」を続けてまいります。

親和会部会報告

総務部会から

役員会報告（毎月第三火曜日開催）
（二〇二〇年一月、六月の主なもの）
*審議事項

- 二〇二〇年度総会について
日時・開催場所・提出議案等
 - 二〇一九年度決算報告（案）及び
二〇二〇年度予算（案）
 - ヤスデの駆除と蔓延防止策
 - ゴミステーションの新設
 - 域内交通安全対策
 - 会費未納入事案対策
 - 伊東市と連携、空き家対策の推進
 - はみ出し樹木対策
 - 顧問弁護士を採用
 - 役員の選任について
- *報告事項
- 各地区連絡会内容（毎月）
 - 各部会活動報告（毎月）
 - 親和会会費納入状況（毎月）
 - 事務局活動月次報告
 - 伊豆高原自治会連合会及び地域創
生協議会活動報告
 - 夢プロジェクト活動報告（毎月）
 - メガソーラー問題について

*会費納入のお願い

親和会会員各位には、毎年会費納入
にご協力頂き厚く御礼申し上げます。
ご存知の通り、親和会は伊豆高原分譲
地の大半を力バーしています。管理
会社による管理運営とは異なり、会員
自らが親和会のテリトリーを管理運営
しております。従って、会員皆様の会
費により全て運営され、当地区内の道
路及び側溝補修、街路灯維持管理、浸
透地整備、域内清掃、ごみ処分、親和
会運営事務等、より良い環境を整備す
るために使用されております。

ほとんどの会員の方は期日迄に納入
頂いておりますが、一部の会員におか
れましては、何らかの事情により期日
迄に入金頂いておりません。会員の公
平性を期するためにも、また会員の義
務としても、会費納入へのご協力をお
願いいたします。

各部会リーダーの紹介

総務部会	武川 耕一
道路部会	武川 耕一
連合自主防災会	徳本 政幸
環境美化部会	小川 たつ子
広報部会	徳本 政幸
自主規制部会	住吉 喜久夫
イベント部会	阿部 島賢治
夢プロジェクト	市原 輝夫

道路部会から

二〇二〇年度の道路補修は、工事
管理費用を除いて、千八百万円の予
算を組んでいます。従来通り、九月
の役員会で道路補修案を審議し、十
月以降工事を行っていく予定です。

最近、側溝の傷みが目立ってきて
おり、昨年同様、道路予算の一定額
を割いて補修していきます。

道路を長持ちさせるためには、軽
微な痛みは小さなうちに補修するこ
とが重要です。事務所ではレミファ
ルトによる簡易補修を日常的に行っ
ていますので、道路に穴が開いてい
る場合は事務所までご連絡ください。



新しく親和会の業務を担当することになった伊豆急ハウジングの
社員をご紹介します。



稲葉さん



肥田さん

← 従来から親和会を
担当している方です



望月さん



なお、大室高原自治会や伊豆高原
すいらん別荘地管理会と一緒に、伊
豆高原地域自治会連合会として伊東
市に対して道路補修補助の増額や、
市への道路移管の要請を行っていま
す。伊東市より、今年度は新たに六
十万円相当の現物供与がありました。

親和会区域内の下水処理の仕組みと浸透池管理

伊豆高原地域の

下水処理は地下浸透式

伊東市の都市計画では、伊豆高原地域を含む伊東市の南部地区の下水処理について、都市部で整備されているような下水処理施設を設置することにはなっていない。下水管は敷設されていませんし、下水処理施設もありません。都市計画では「下水道の整備を推進します」として、「伊東地域、宇佐美地域及び小室地域の荻、十足で整備します」。

その他の地域では各市街地の状況に合わせた生活排水処理方法を検討していきます」と明記されているように、都市部のような下水処理施設は今後も期待できないようです。

伊東市の南部地域では、生活排水や汚水、また雨水については、地下への浸透方式の処理が基本になって

います。

親和会には三十五の浸透池

最近の豪雨で、浸透池では排水しきれずに国道が冠水し、通行止めになる事態が発生するため、今年から国道百三十五号線と伊豆高原桜並木通りが交差する地点にある浸透池の管理について、伊東市に移管しましたが、親和会では、第一地区から第四地区まで、大小合わせて三十五の浸透池を管理しています。これらの浸透池では、生活排水と雨水を集めて地下への浸透処理を行っています。浸透池の機能を発揮するためには、写真3及び6のような状況に維持することが必要です。



作業前 No.3



作業中



浚渫清掃後



作業前 No.18



作業中



浚渫清掃後

分譲地の環境維持に

浸透池の整備は欠かせない

伊豆高原の分譲が始まってからすでに五十五年が経過しています。浸透池は、浸透池管理台帳に基づき毎年整備していますが、親和会予算との関係で、毎年三〜四か所の浸透池の整備しかできません。しかも雨水が集中的に流入する浸透池については、毎年のように浚渫しなければならず、そのため毎年新規に整備する浸透池の数は二つ前後に限られてしまいます。

伊豆高原では土砂の流出が多く、また草木の成長が早いいため、毎年整備していても写真1のような状況になってしまいます。浸透池の雑草や小さな木は作業員で刈り取っていますが、長い間に成長してしまった樹木については、専門業者に依頼するしかなく、予算の制約でなかなか伐採することはできず、その場合は写真4のような状態になってしまっています。

浸透池周辺の住環境を阻害する事態ともなりますので、浸透池の整備は欠かせることができません。

浸透池の整備

浸透池の整備については、浸透式排水効果を確保するための浚渫と、浸透池内の草木の伐採の二つに加え、浸透池の周囲の整備、例えば浸透池に人が落ちないようにするための囲いの整備があります。これらの工事をすべてを行うとすれば、大きな浸透池であれば数百万円の経費が掛かります。

現在の親和会の予算で賄いきれる金額ではありませんので、年度ごとの計画的な浚渫と、作業員がやれるところの草木の伐採、専門業者に依頼する大きな樹木の計画的な伐採を組み合わせて行っています。併せて、伊東市に、分譲地の住環境整備の一環として浸透池整備のサポートを要請していきます。

ゴミステーション新設のお知らせ

この度、伊豆高原別荘地番号（三次三三五号）東南角と（七次七六七号）東側に新たにゴミ・ステーションを設置する事になった旨を親和会会員の皆様にお知らせします。

第二地区の第三班と第五班の南西地区に設置されていたゴミ・ステーションのいくつか、かつて何らかの理由で撤去されてしまい、それによりこの地域の会員の方々が不便になってしまいました。この該当地域では、高齢者の方々が家庭ゴミを出す時に、徒歩で遠くのゴミ・ステーションまでそれを運ばなくてはなりません。そのご苦労を少しでも軽減するために、かつてのゴミ・ステーションを元の場所近くに復活（増設）すべく検討してきました。

この度、本趣旨に賛同して頂いた土地所有者と近隣会員の方々から新規ゴミ・ステーション設置の承諾を得ました。

写真は、ゴミ・ステーションを設置した場合を予想した合成写真です。これらの新規ゴミ・ステーションの設置完了時期は本年八月下旬から九月初旬を予定しています。近隣の会員の皆様には新ゴミ・ステーションを便利に利用して頂くと共に、ゴミの分別を含めて親和会のゴミ収集ルールに則り、きれいな状態を維持して頂きたいとお願いします。



十二月防災訓練について

例年通りの場合は、十二月一日（日）に伊東市地域防災訓練が開催されますが、今年はコロナウイルス対策のため、十月末に開催要領が明らかになる予定です。

開催要領については、十一月に親和会事務所宛お尋ねください。なお、親和会ニュースでもお知らせします。

親和会電子掲示板開設のお知らせ

今回、親和会パソコンサー



クルのご協力を得て、親和会電子掲示板を開設します。情報提供のみのためセキュリティには問題がありません。コストは年間一万円強に収めることができます。会員との双方向通信はできませんが、会報いすこうげんや親和会ニュース、親和会の催し物の案内、イベントの開催予定などの情報提供を行っていきます。開設は九月二〇日です。

接続は左URLか右QRコードから！

<https://izukogen-shinwakai.org/>

恒例の年末

餅つき大会の中止

毎年多くの会員の皆様が参加され、年末の親和会の恒例行事として定着していた年末餅つき大会について、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止させていただきます。来年度の開催をお楽しみに。

各地区連絡会開催のお知らせ

第一地区～第四地区まで全地区で開催致します。地区によって開催日、時刻と開催場所が異なりますのでご注意ください。

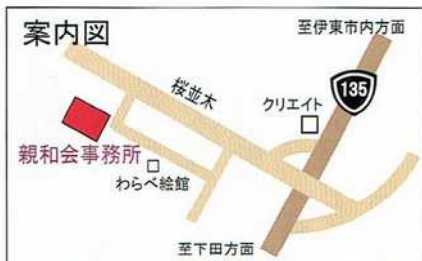
第一地区 十一月十四日（土）
午前十時～

第二地区 十一月十一日（水）
午後一時三十分～

第三地区 十一月七日（土）
午後一時～

第四地区 十一月七日（土）
午前十時～

於：八幡野コミセン



（広報部会）編集委員

市原 輝夫 高橋 巨 徳本 政幸
牧島 珪 山田 華恵 吉田 勇

事務局 赤堀 井端

（50音順）